

## 普及現地情報

発信年月日：令和2年(2020年)8月〇日

所属名：大津・南部農産普及課

番号：A20004

部門分類：430（地域・農村計画）

発信者名：西田、山田（浩）、川村、増田

### 地域の未来設計図「人・農地プラン」研修会を開催！

集落が抱える人と農地の問題を解決する「人・農地プラン」の実質化に向け、集落での話し合いを活性化させることをねらいに、野洲市、守山市および栗東市の農業組合長を対象とした研修会を湖南地域農業センターと連携して開催しました。関係者を含めた参加者は70名となりました。

研修会は、地方考夢員<sup>®</sup> 研究所長の澤畑佳夫氏を講師に、「思いをカタチにできる集落座談会の進め方」というテーマで実施しました。第1部の座学では、プラン策定は「地域の未来設計図」を描くことであり、参加者が発言しやすい集落座談会の雰囲気づくりや進め方に工夫が必要であること、第2部の模擬座談会では、ある集落でのアンケート結果を地図に落とし込んだものを想定し、ワークショップ形式で参加者の意見を集約し、合意形成を図る手順を実演しました。

今回のポイントは、「現在の中心経営体（認定農業者）を応援するアイデア」について、グループ内で3つに絞り込み、全員の前で発表を行った後、自分のグループ以外のアイデアで賛同するものに1人3票のシールを貼り「投票」を行うことにより、合意形成の習得手法が体験できる点です。その結果、「農地の集積・集約化」や「畦畔や水管理などの作業支援」などのアイデアが総意として合意され、参加者からは「結論ありきではなく自分の意見を聞いてもらえた」、「みんなで決めたという納得感が得られやすい」、「話し合いにこの手法を取り入れたい」という積極的な意見が聞かれました。

研修会後のアンケートでは、集落での話し合いの際に、関係機関からの支援を希望すると回答した集落は、野洲市10集落、守山市3集落、栗東市4集落ありました。

当課では、今後も関係機関と連携しながら、人・農地プランの実質化に向けた話し合いに積極的に参画し、プランに基づいた新たな実践活動につながるよう支援を継続していきます。



模擬座談会でアイデアを集約